



# 2024年、岐阜県立国際園芸アカデミーは 開学20周年を迎えました。

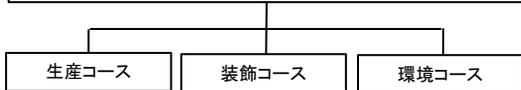
国際園芸アカデミーは園芸のプロを目指す人のための県立の専修学校として、  
2004年の開学以来20年間で約400名の卒業生を輩出し、花と緑の産業を支える人材を育成してきました。  
この節目の年に20年を振り返りながら、関係者や地域の皆さまのご支援に感謝するとともに、  
卒業生や在校生、教職員の絆を一層深め、さらに本学の魅力向上に取り組んでまいります。

## 学校組織の変遷

2004年4月

開学

**上級マイスター科** ※短大卒程度以上  
(4年制 学年定員10名 前期課程・後期課程)



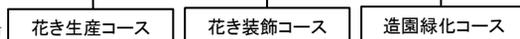
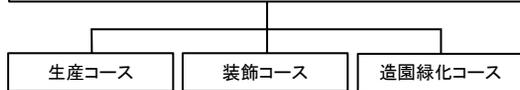
2013年3月

上級マイスター科 廃止

2013年4月

コース名変更

**マイスター科** ※高卒程度以上  
(2年制 学年定員20名)



職業実践専門課程の認定

2018年2月

## 職業園芸人を目指す人へ マイスター科



# 国際園芸アカデミー20年のあゆみ 人材育成の実績

## 上級マイスター科

(2013年3月廃止)

上級マイスター科は、開学から2013年3月の廃止までに、53名が入学し、43名が卒業しました。

(生産コース：前期課程10名・後期課程2名、装飾コース：前期課程8名・後期課程15名、環境コース：前期課程4名・後期課程4名)

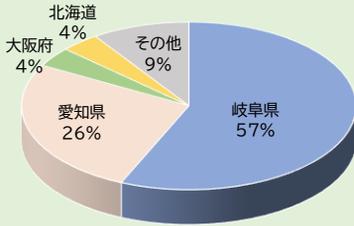
出身地では、岐阜県内が約6割と最も多く、次いで愛知県となっています。

卒業生のうち、約4割が岐阜県内に就職し、3割が愛知県に就職しました。

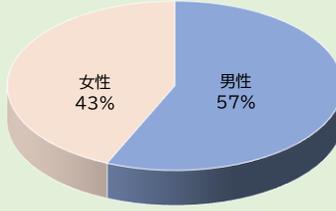
業種としては、造園設計・施工関係が全体の34%と最も多く、次いで生花園芸店・装飾業界、公園管理・観光業界となっています。

現在では、自ら会社を設立し、各地域で関連業界のリーダーとなっている卒業生も数多くいます。また、海外で活躍する卒業生もいます。

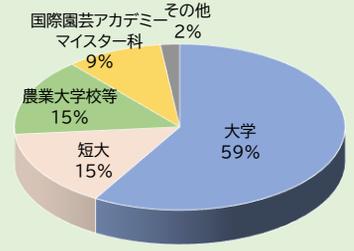
入学時



入学生の出身地

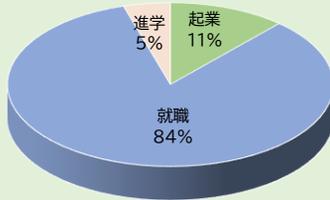


入学生の男女比

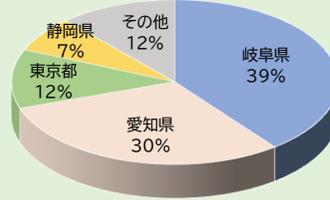


入学生の出身学校

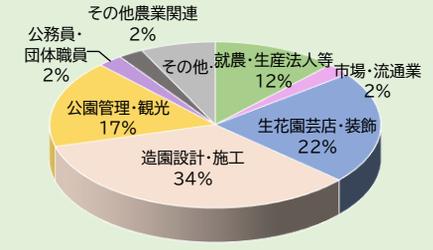
卒業時



卒業生の進路



就職先の地域



就職先の業種

## マイスター科

マイスター科は、開学から2023年4月までに412名が入学し、2024年3月までに355名が卒業しました。

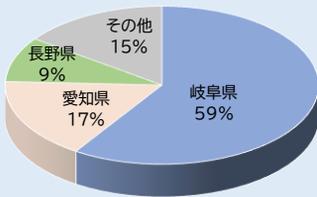
(花き生産コース：84名、花き装飾コース：142名、造園緑化コース：129名)

出身地では、岐阜県内が約6割と最も多く、県外では、愛知県、長野県が多くなっています。

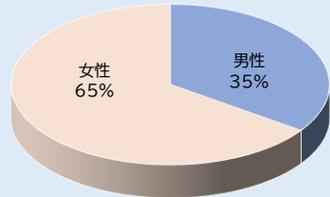
卒業生のうち、約4割が岐阜県内に就職し、3割が愛知県に就職しています。その他出身地に戻って就職する学生もいます。

業種としては、生花園芸店・装飾業界が46%、次いで造園設計・施工関係が23%となっています。公務員・団体職員や公園管理・観光業界に進む卒業生もいます。

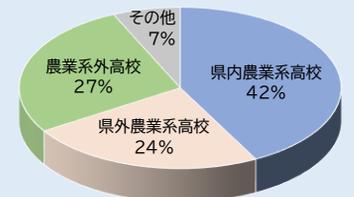
入学時



入学生の出身地

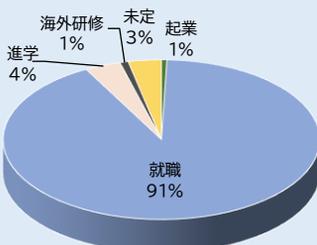


入学生の男女比

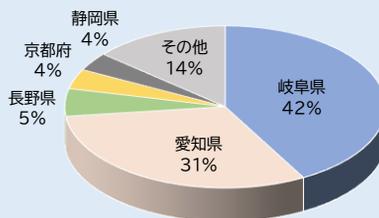


入学生の出身学校

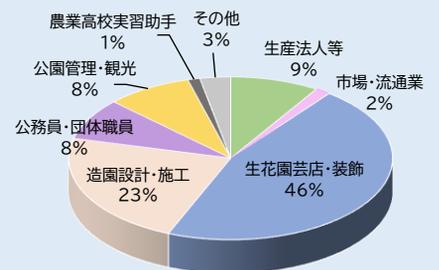
卒業時



卒業生の進路



就職先の地域



就職先の業種

# 国際園芸アカデミー20年のあゆみ 主な受賞歴(競技大会・コンテスト等)

※全国レベルでの大会を抜粋

## 上級マイスター科

(2013年3月廃止)

### 国際バラとガーデニングショウ(バラとガーデニングコンテスト)

年度	回	部門等	参加チーム等	成績
H18	第8回	ガーデン部門 サイズB	3年生チーム	準優秀賞
H19	第9回	ガーデン部門 サイズB	造園・装飾セミ	優秀賞
H20	第10回	ガーデン部門 サイズA	上級マイスター科 チーム	入賞

世界のバラと美しいガーデニングを紹介する国内最大規模の祭典として1999年から2018年まで毎年5月に旧西武ドームで開催。

### その他

年度	コンクール等名	参加チーム等	成績
H19	全国学校ビオトップ・コンクール (高校生以上の部)	環境コース	銀賞
H21	浜松モザイクカルチャー世界博2009	上級マイスター科 チーム	文化賞
H21	第9回さか 建築・生活・芸術系学生・生徒優秀作品展	3年 大澤 功	最優秀賞

### フラワードームあいち花フェスタ(フラワーディスプレイコンテスト)

年度	大会名	参加チーム等	成績
H18	フラワードーム2007	3年 服部郷子	奨励賞
H19	フラワードーム2008	装飾コース	銀賞
H20	フラワードーム2009	装飾コース	銅賞
H21	フラワードーム2010	装飾コース	銅賞

生産額全国一の愛知県の花が競演する「あいち花フェスタ」と、国内で最も歴史のある「名古屋国際蘭展」がひとつになった日本最大級のフラワーイベントで、1998年から2011年までナゴヤドームで開催。



第10回バラとガーデニングコンテスト(入賞)  
(2008年5月)



フラワードーム2008(銀賞)  
(2008年3月)

## マイスター科

### 技能五輪全国大会

年度	回	競技職種	学年	出場学生	成績
H22	第48回	フラワー装飾競技	2年	池戸 彩笑子	敢闘賞
			2年	吉原 菜々未	敢闘賞
H24	第50回	フラワー装飾競技	2年	小栗 早稀	敢闘賞
H27	第53回	フラワー装飾競技	2年	村瀬 萌衣	敢闘賞
H29	第55回	フラワー装飾競技	2年	江尾 星	敢闘賞
H30	第56回	フラワー装飾競技	2年	加納 沙乙里	敢闘賞
			2年	柴田 明日香	銀賞
R1	第57回	フラワー装飾競技	2年	高瀬 古都乃	敢闘賞
			2年	梅木 夕佳 宮本 端姫	敢闘賞
R5	第61回	造園競技 (チーム)	2年	梅木 夕佳 宮本 端姫	敢闘賞

国内の青年技能者(原則23歳以下)を対象に、技能競技を通じ、青年技能者に努力目標を与えるとともに、技能に身近に触れる機会を提供するなど、広く国民一般に対して技能の重要性や必要性をアピールし、技能尊重機運の醸成に資することを目的として実施する大会。(42職種)

### 若年者ものづくり競技大会

年度	回	競技職種	学年	出場学生	成績
H30	第13回	造園職種	2年	杉山 直樹	敢闘賞
R4	第17回	造園職種	1年	宮本 端姫	銅賞

職業能力開発施設、工業高等学校等において技能を習得中の若年者(原則20歳以下)であり、企業等に就業していない者を対象に、技能競技を通じ、これら若者に目標を付与し、技能を向上させることにより就業促進を図り、併せて若年技能者の裾野の拡大を図ることを目的として実施する大会。

### 全国造園デザインコンクール

年度	回	区分・部門	学年	参加チーム等	成績
R2	第47回	大学・一般の部 実習作品部門	2年	造園緑化チーム	佳作
R3	第48回	大学・一般の部 実習作品部門	2年	造園緑化チーム	佳作
			1年	造園緑化チーム	入選
R4	第49回	大学・一般の部 実習作品部門	2年	造園緑化チーム	佳作
R5	第50回	大学・一般の部 実習作品部門	2年	造園緑化チーム	佳作

(一社)日本造園建設業協会主催。昭和49年にはじまり、造園のデザインと製図技術の向上を図る目的で実施されている。

応募条件を一般・大学生・高校生の3部に分け、課題は「住宅庭園」「街区公園」「商業施設」「実習作品」の4部門と高校1・2年生を対象とした「緑化フェア(みどりの広場)プラン」部門がある。



第57回技能五輪全国大会  
フラワー装飾競技(銀賞)  
(2019年11月)



第61回技能五輪全国大会  
造園競技(敢闘賞)  
(2023年11月)



第13回若年者ものづくり大会  
造園職種(敢闘賞)  
(2018年8月)

# 国際園芸アカデミー 20年の取り組み



## 資格取得のサポート

業界の第一線で活躍する非常勤講師による対策実習を開講するなど、技能検定(園芸装飾・造園・フラワー装飾)や造園施工管理技士等の花と緑に関連が深く、即戦力として必要になる資格の取得をサポートしています。



## 花と緑の連携授業

高等学校等の授業の一部を本学の教員が講師として受け持ち、花と緑に関する魅力ある授業を展開しています。草花の栽培や育種、花き流通、フラワー装飾、造園、都市緑化など国際園芸アカデミー教員ならではの多彩で魅力的な授業を行っています。



## 国際交流

モロッコ、ベトナム、中国などからの研修生を受け入れるとともに、モロッコに本学教員を派遣するなど国際交流を進めてきました。令和元年度からは、フランスの教育機関との交流を開始し、令和5年には、研修生1名を受け入れました。



## 技能五輪全国大会

「フラワー装飾」職種は平成22年度から毎年岐阜県代表として出場し(卒業生を含む)、上位入賞者を輩出しています。令和元年度からは「造園」職種でも岐阜県代表として出場しており、令和5年度は敢闘賞を受賞しました。



## 各種コンクールへの挑戦

上級マスター科(平成25年3月廃止)では、全国規模のコンクールに参加し、多くの入賞を果たしてきました。マスター科では、全国造園デザインコンクールや県内農林業教育機関の発表大会などに積極的に参加しており、優秀な成績を修めています。



## 海外視察研修

マスター科2年生の必修科目として、園芸の本場であるイギリスを中心とした欧州での海外視察研修を行ってきました。新型コロナウイルスの影響で、一時国内研修に振り替えていましたが、令和6年度から海外での研修を再開しています。(令和6年度はシンガポール)



## ぎふワールド・ローズガーデンの活用

ぎふワールド・ローズガーデン内に実習フィールドを設け、花壇管理や庭園制作の実習をしています。令和5年度には花トピアを本学のサテライト施設として改修整備し、令和6年度から作品展示、販売実習などで本格的に活用し、実践教育を強化しています。



## オープンキャンパス・学校見学会

学生募集活動として、年間を通して学校見学会を行うとともに、夏休みにはオープンキャンパスを開催しています。オープンキャンパスでは、学校の概要や入試説明、模擬授業体験や施設案内などを行い、本学についての理解を深めています。



## 自治体・企業との連携・協力

令和5年度までに県内の5自治体・3企業と連携・協力協定を締結し、公園整備への助言、自治会活動の支援など様々な活動を行っています。地域貢献活動や技術研鑽の場として、活動に参加する学生の貴重な体験の場にもなっています。



## ボランティア活動

ぎふワールド・ローズガーデンでの管理作業や関ヶ原町休耕田での植栽作業、花と緑のイベント支援など、学生は様々なボランティア活動に参加しています。こうしたボランティア活動を通じて地域社会とつながることで、新たな経験や気づきが得られます。



## 学園祭(なんじゃ祭)

学園祭は、本学のシンボルツリーでもある「ナンジャモンジャノキ」から名付けて「なんじゃ祭」と称しています。学生会が主催し、例年6月に開催され、実習で栽培した花苗の販売や花束づくり体験教室など、地域の方々との交流を通して、本学の魅力を発信しています。



## 生涯学習講座

「花と緑」に関心のある一般の方や園芸業界の実務者、卒業生等を対象とした生涯学習講座を開講しています。講座では、アカデミーの教員が講師となって、ニーズに応じた内容で、講義や実習を行っています。



Home Page



Facebook



Instagram



岐阜県立 **国際園芸アカデミー**

Gifu International Academy of Horticulture

〒509-0251 見里市塩1094-8

☎ 0574-60-5250(代)

✉ info@horticulture.ac.jp

(2024年6月版)